

第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の 招致に関する決議

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に大きく寄与してきた。

本県においては、昭和54年に「伸びる心、伸びる力、伸びる郷土」をスローガンとして、第34回「日本のふるさと宮崎国体」を開催し、本県選手団の活躍や県民総参加で大会を支えた誇りと自信は、明るく豊かな宮崎を築く原動力となり、その後の県勢に大きな影響を与えた。

国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を本県へ招致することは、障がいのあるなしにかかわらず、本県のスポーツ振興が図られることに加え、県民の連帯感と郷土意識を醸成し、活力に満ちた郷土づくりを推進するためにも極めて意義深いものである。一方、スポーツ施設の老朽化などの課題もあることから、本県での国体等の開催は、宮崎らしさを生かした新しい国体等の在り方として、効果的・効率的な大会運営を図りつつ、本県の多彩な魅力の情報発信や、継続的なスポーツの普及・振興につなげることによって、明るく豊かで力みなぎる宮崎づくりに大いに貢献することが期待される。

よって、本県議会は、平成38年の第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会を本県に招致することを強く要望する。

以上、決議する。

平成27年3月13日

宮 崎 県 議 会